

古河電工グループ 2023年度第2四半期決算

2023年11月9日

古河電気工業株式会社

代表取締役社長 森平 英也

取締役 兼 執行役員常務 財務本部長 福永 彰宏

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本日のアジェンダ

23年度上半期決算および23年度通期予想

- 23年度上半期決算のポイント
 - 23年度通期予想見直し
 - ファイバ・ケーブル事業の状況と改革の取組み
 - 資本効率重視経営の取組み
 - ビジョン2030達成に向けた注力分野
-
- 23年度上半期実績-要約P/L
 - 23年度通期予想-要約P/L
 - セグメント別売上高・営業利益（上半期）
 - セグメント別売上高・営業利益（通期予想）
 - 23年度上半期実績-要約B/S
 - 棚卸資産の実績と今後の見通し
 - 設備投資額・減価償却費・研究開発費

Appendix

23年度上半期決算および23年度通期予想

■主に情報通信ソリューション事業の大きな落ち込みから、前年同期比で減収減益

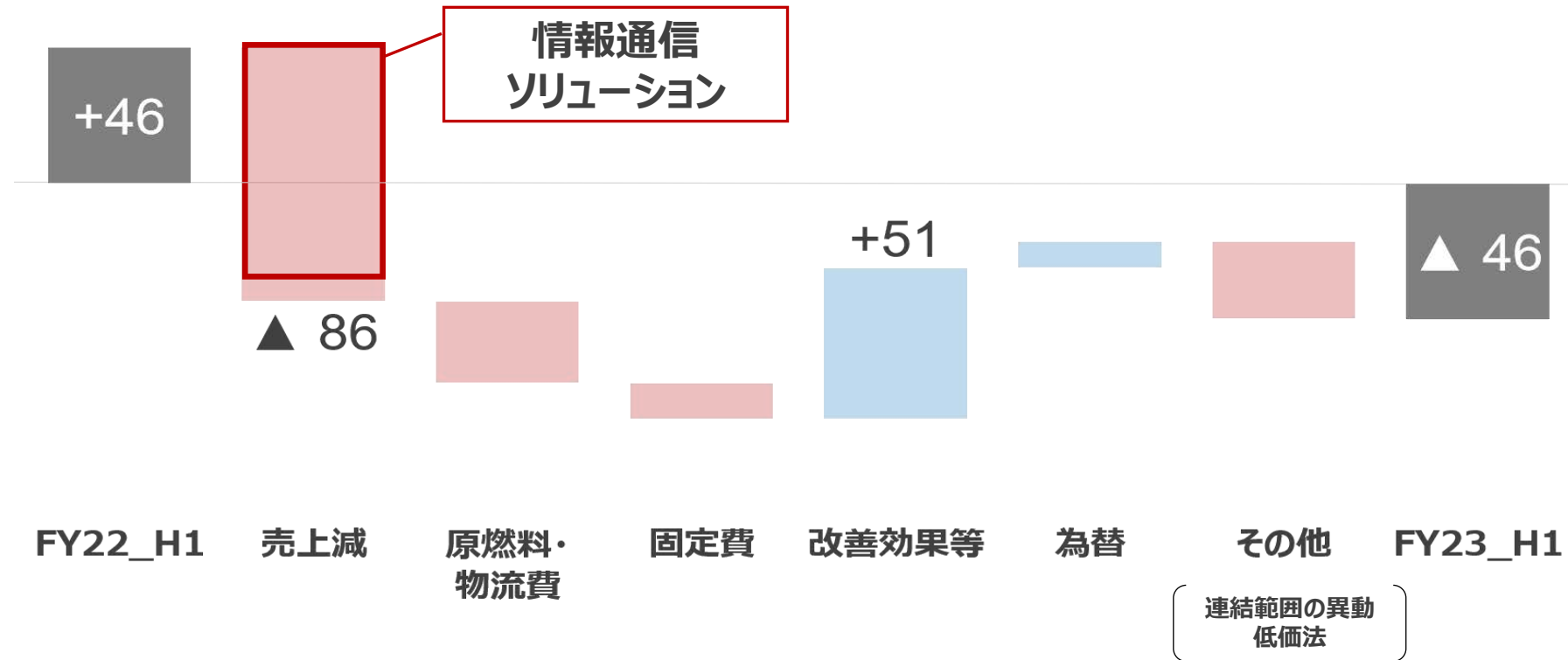
(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY22_H1*	FY23_H1	前年比	(前年比)
	a	b	b-a	
売上高	5,245	5,031	▲ 214	増収：電装エレクトロニクスセグメント（自動車部品・電池） 減収：インフラ、電装エレクトロニクス（電装エレクトロニクス材料）および機能製品セグメント
営業利益	46	▲ 46	▲ 92	増益：電装エレクトロニクスセグメント（自動車部品・電池） 減益：インフラ、電装エレクトロニクス（電装エレクトロニクス材料）および機能製品セグメント
経常利益	121	▲ 36	▲ 157	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	63	▲ 41	▲ 105	
銅建値 平均	1,205	1,241		
為替 平均	134	141		

* (株)UACJ（持分法適用関連会社）の国際財務報告基準（IFRS）任意適用開始によりFY22実績値をリステイト（Appendix参照）

23年度上半期決算のポイント-営業利益の増減要因

- 販売価格の適正化や生産性・製品ミックス改善等の効果はあるも、主に情報通信ソリューション事業の売上減少により減益

(単位：億円)



■ 情報通信ソリューション事業における想定以上の顧客の投資抑制と在庫調整の長期化により減収、それに伴い各段階損益の通期予想を下方修正

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY22 ^{*1}	FY23 前回予想 ^{*2}	FY23 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	10,663	11,000	10,400	▲ 263	▲ 600
営業利益	154	240	50	▲ 104	▲ 190
経常利益	173	230	40	▲ 133	▲ 190
親会社株主に 帰属する 当期純利益	159	130	0	▲ 159	▲ 130
銅建値 平均	1,209	1,180	1,191	▲ 19	+11
為替 平均	135	130	141	+5	+11

^{*2} 2023/5/11公表

(前回予想比)

上方修正：電装エレクトロニクスセグメント
下方修正：インフラおよび機能製品セグメント

上方修正：電装エレクトロニクスおよび機能製品セグメント
下方修正：インフラセグメント

営業利益の減少

特別利益の増加

期末配当予想は、2023年5月11日に公表した1株当たり60円を据え置いております。

^{*1} (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始によりFY22実績値をリステイト (Appendix参照)

23年度通期予想見直し-セグメント別営業利益

■自動車部品・電池、機能製品は期初予想から上振れ

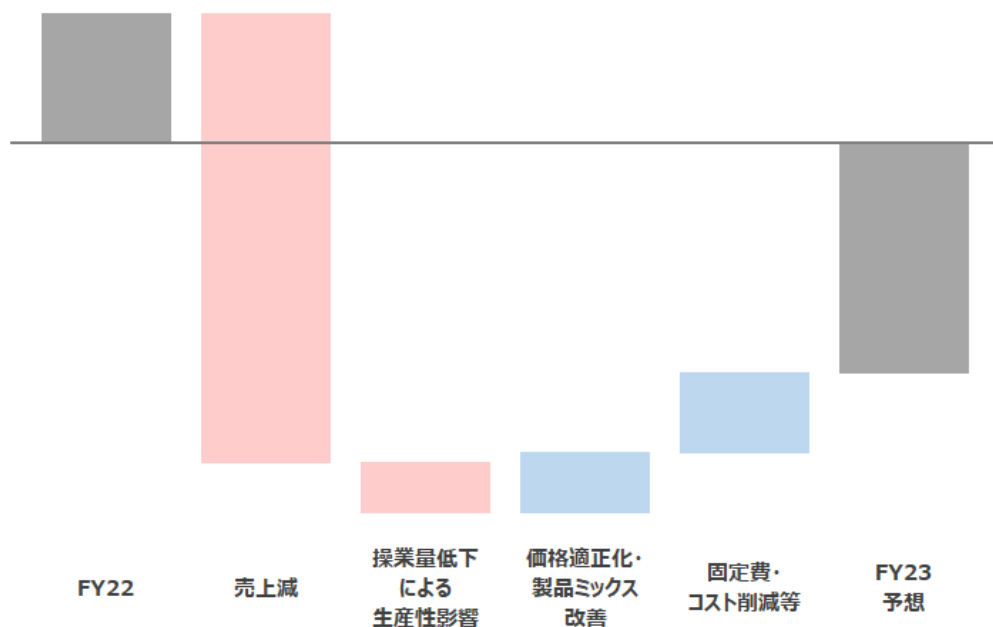
■情報通信ソリューション、エネルギーインフラ、電装エレクトロニクス材料は下振れ

セグメント	サブセグメント	FY22 実績	*FY23 前回 予想	FY23 予想		前年比	前回 予想比	状況認識	
				H1実績	H2予想				
インフラ	情報通信 ソリューション	65	80	▲60	▲65	▲125	▲190	▲205	ファイバ・ケーブル事業は北米・中南米の需要低迷が継続
	エネルギーインフラ	21	20	▲26	36	10	▲11	▲10	大型海底線案件は来年度以降に後ズレも、その他の国内案件は堅調
電装 エレクトロニクス	自動車部品・電池	15	85	23	92	115	+100	+30	回復がさらに本格化
	電装エレクトロニクス材料	32	40	6	19	25	▲7	▲15	エレクトロニクス市場の回復遅れ
機能製品		42	40	21	29	50	+8	+10	AI関連は引き続き好調も、それ以外は回復遅れ

* 2023/5/11公表

- 北米・中南米の需要低迷に伴う売上減の影響大 → 価格適正化や固定費・コスト削減を継続
- 中長期的には通信トラフィック増大 ~ 市場成長は確実（回復時期を注視）
- ネットワーキングシステム・高付加価値品へのシフトを加速

営業利益増減要因（22実績vs23最新予想）



実行中の取組み

固定費・コスト削減、生産性向上

- 低採算拠点の統廃合
- 稼働エリア集約と需要立ち上がりに向けた製造体制整備（固定費圧縮と人材リスク低減の両立）
- DX、IoTの活用

製品ミックス改善による利益率向上

- ソリューション・ポートフォリオ拡充（ネットワーキングシステム）
- ローラブルリボンケーブルの生産能力拡充
- 特殊ファイバは、航空・防衛、医療、通信の3市場に注力
- 海底線の顧客基盤拡大と次世代品開発・量産

売上増に向けた準備

- 北米市場を中心に顧客層を拡大（FTTH、データセンタ等）
- BEAD* 案件受注に向けた対応

* Broadband Equity Access and Deployment Program

■事業ポートフォリオ転換を実行中

低採算事業対応

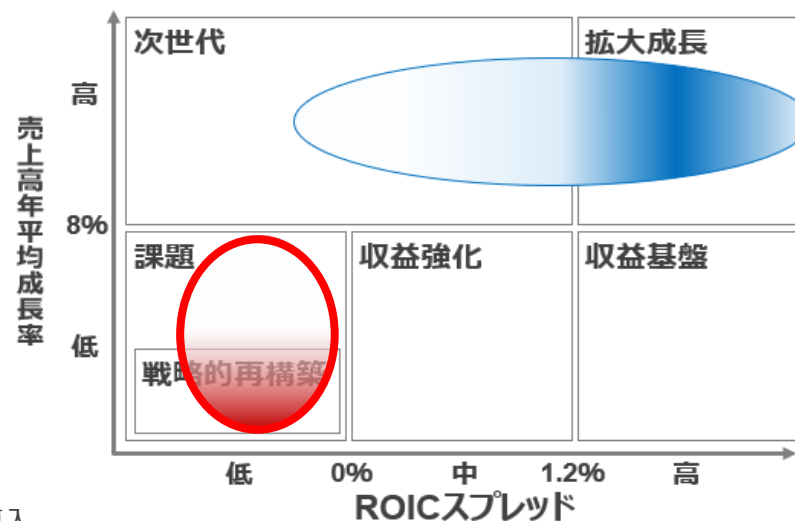
- 重点的なモニタリングによるPDCAの徹底
- 25中計期間内の戦略的再構築事業の改革完遂を目指し、複数の事業再編プロジェクトが進行中

経営管理指標を用いた事業運営の実践と定着

- ROIC, FVA*を用いた事業運営、定期的なモニタリング・評価とそれに基づく適切な資源配分
- FVAツリーを活用した事業毎のKPIに基づく施策の実行とフォロー

財務体質改善とキャッシュ創出

- 財務規律の徹底
- キャッシュ・コンバージョン・サイクルの改善
- 保有資産のスリム化
- 事業環境等を踏まえた設備投資の見直し

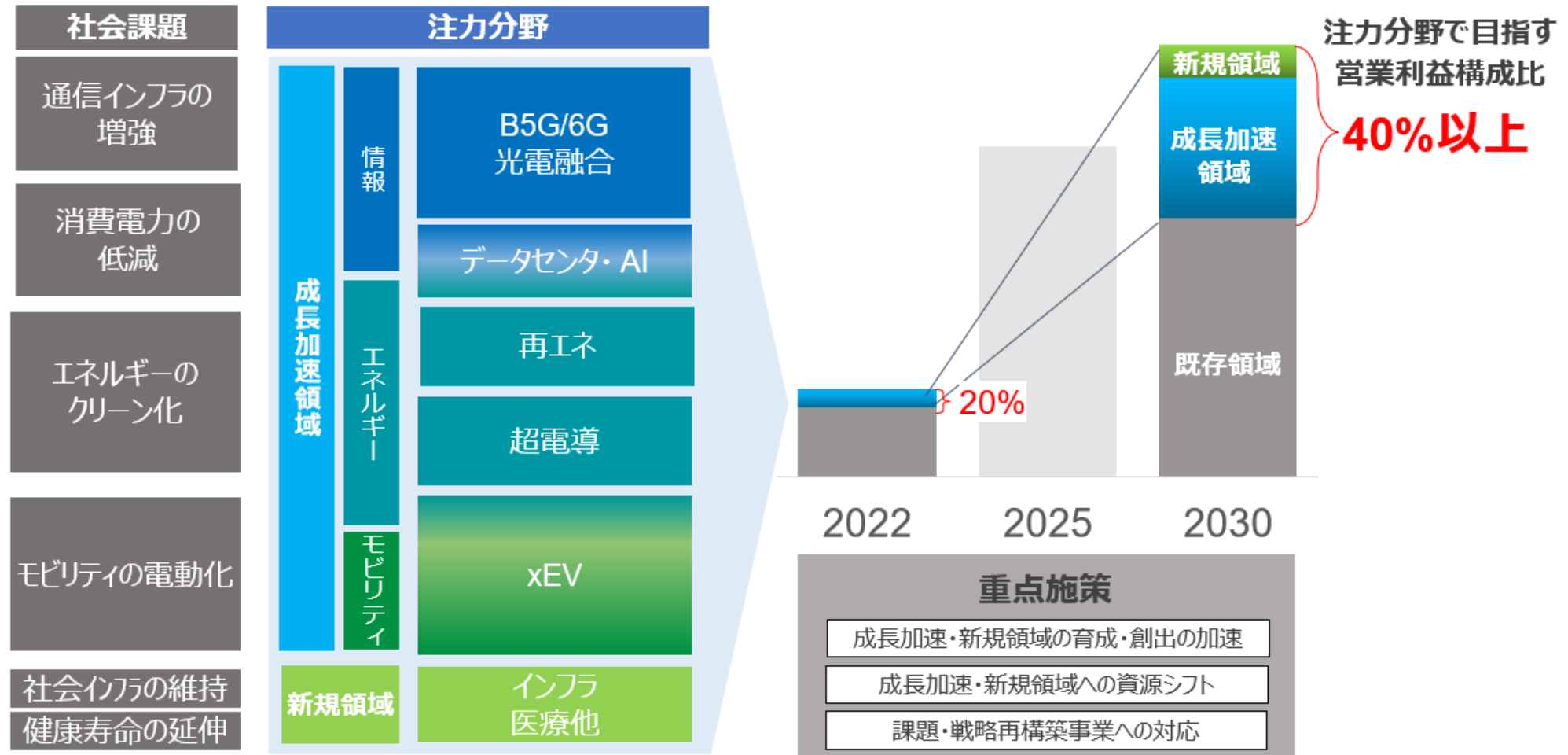


<実施済案件>

- 建設・電販市場向け汎用電線のSFCC株式会社への製造事業統合
- 東京特殊電線株式会社の株式売却
- ファイバ・ケーブル製造拠点の統廃合

* FVA(Furukawa Value Added) : 投下資本付加価値額。
EVAを当社向けにアレンジし、社内管理指標として2022年度より導入。

■ 既存領域の成長に加え、2030では成長加速・新規領域での利益拡大を図る



Intentionally Blank

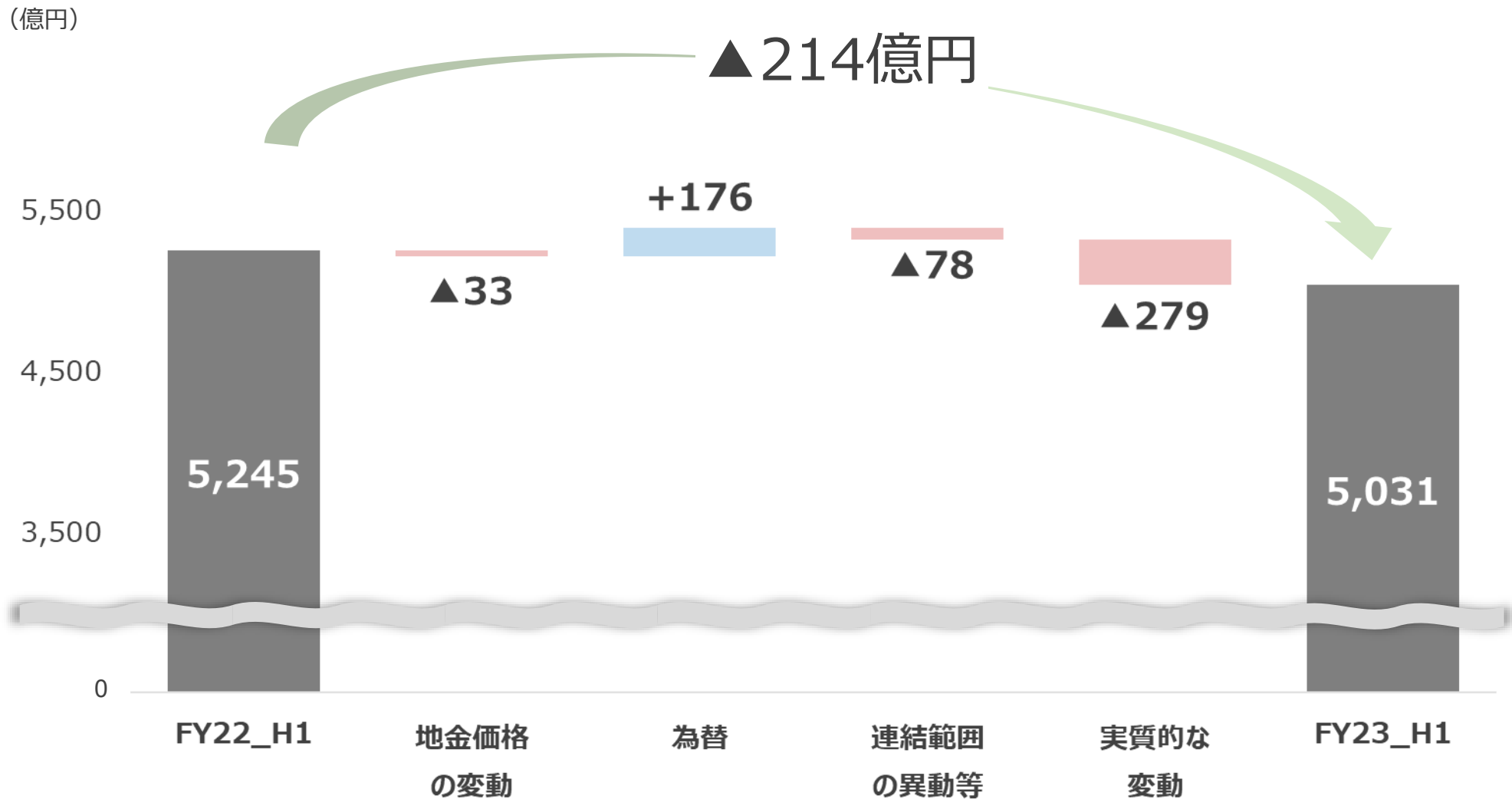
23年度上半期決算および23年度通期予想（詳細）

23年度上半期実績-要約P/L

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY22_H1*	FY23_H1	前年比	主な増減内訳 (H1)
	a	b	b-a	
売上高	5,245	5,031	▲ 214	15ページ参照
営業利益	46	▲ 46	▲ 92	16ページ参照
(率)	0.9%	▲ 0.9%	▲ 1.8	
持分法投資損益	39	22	▲ 17	
為替損益	47	21	▲ 27	
経常利益	121	▲ 36	▲ 157	
(率)	2.3%	▲ 0.7%	▲ 3.0	
特別損益	1	35	+34	・特別利益：+50 (13→63)
法人税等	▲ 56	▲ 36	+20	・特別損失：▲16 (▲12→▲28)
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 3	▲ 4	▲ 1	
親会社株主に帰属する 当期純利益	63	▲ 41	▲ 105	
(率)	1.2%	▲ 0.8%	▲ 2.0	
銅建値 平均	1,205	1,241	+36	
為替 平均	134	141	+7	

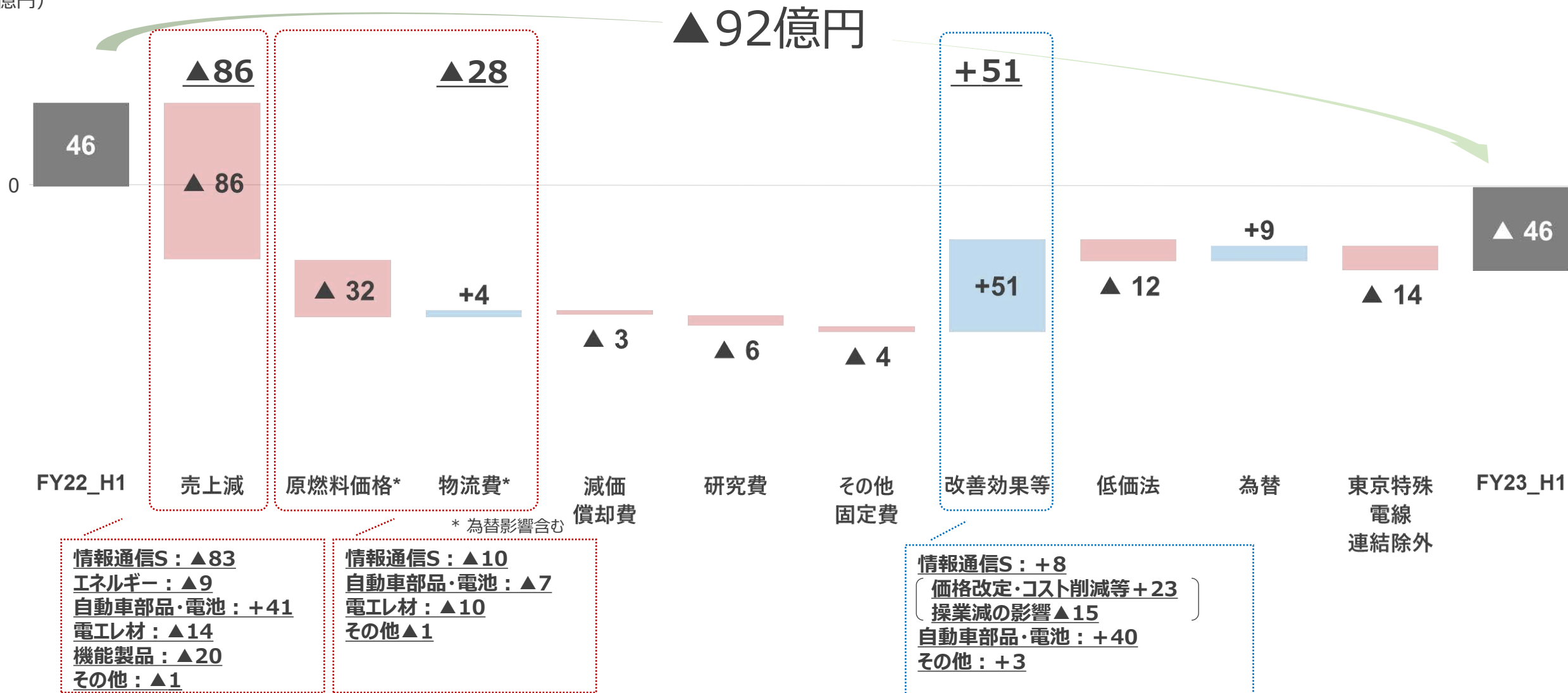
* (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始によりFY22実績値をリステイト (Appendix参照)

23年度上半期実績-売上高の増減要因



23年度上半期実績-営業利益の増減要因

(億円)



23年度通期予想-要約P/L

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY22 ^{*1}	FY23 前回予想 ^{*2}	FY23 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	10,663	11,000	10,400	▲ 263	▲ 600
営業利益	154	240	50	▲ 104	▲ 190
(率)	1.4%	2.2%	0.5%	▲ 1.0	▲ 1.7
持分法投資損益	36	-	-	-	-
為替損益	17	-	-	-	-
経常利益	173	230	40	▲ 133	▲ 190
(率)	1.6%	2.1%	0.4%	▲ 1.2	▲ 1.7
特別損益	107	▲ 5	83	▲ 24	+88
法人税等	▲ 103	-	-	-	-
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 17	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	159	130	0	▲ 159	▲ 130
(率)	1.5%	1.2%	+0.0%	▲ 1.5	▲ 1.2
銅建値 平均	1,209	1,180	1,191	▲ 19	+11
為替 平均	135	130	141	+5	+11

政策保有株式等の売却

為替レート、銅価水準の変更

(H2前提：1,140)

(H2前提：140)

^{*2} 2023/5/11公表

^{*1} (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始によりFY22実績値をリステイト (Appendix参照)

セグメント別売上高・営業利益（上半期）

(単位：億円)	売上高			営業利益		
	FY22_H1	FY23_H1	前年比	FY22_H1	FY23_H1	前年比
	a	b	b-a	c	d	d-c
インフラ	1,598	1,348	▲ 250	25	▲ 87	▲ 112
情報通信ソリューション	1,080	862	▲ 218	23	▲ 60	▲ 83
エネルギーインフラ	518	486	▲ 32	2	▲ 26	▲ 29
電装エレクトロニクス	2,932	3,087	+154	▲ 18	29	+47
自動車部品・電池	1,579	1,804	+225	▲ 42	23	+65
電装エレクトロニクス材料	1,353	1,283	▲ 70	24	6	▲ 18
機能製品	702	557	▲ 145	49	21	▲ 28
サービス・開発等	148	155	+7	▲ 10	▲ 11	▲ 1
連結消去	▲ 135	▲ 115	+20	▲ 0	1	+1
連結合計	5,245	5,031	▲ 214	46	▲ 46	▲ 92

セグメント別売上高・営業利益（通期予想）

(単位：億円)	売上高					営業利益				
	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比
インフラ	3,239	3,350	2,700	▲ 539	▲ 650	86	100	▲ 115	▲ 201	▲ 215
情報通信ソリューション	2,176	2,200	1,650	▲ 526	▲ 550	65	80	▲ 125	▲ 190	▲ 205
エネルギーインフラ	1,063	1,150	1,050	▲ 13	▲ 100	21	20	10	▲ 11	▲ 10
電装エレクトロニクス	6,103	6,450	6,550	+447	+100	47	125	140	+93	+15
自動車部品・電池	3,374	3,750	3,950	+576	+200	15	85	115	+100	+30
電装エレクトロニクス材料	2,730	2,700	2,600	▲ 130	▲ 100	32	40	25	▲ 7	▲ 15
機能製品	1,265	1,250	1,200	▲ 65	▲ 50	42	40	50	+8	+10
サービス・開発等	317	300	300	▲ 17	-	▲ 21	▲ 25	▲ 25	▲ 4	-
連結消去	▲ 261	▲ 350	▲ 350	▲ 89	-	1	0	0	▲ 1	-
連結合計	10,663	11,000	10,400	▲ 263	▲ 600	154	240	50	▲ 104	▲ 190

* 2023/5/11公表

* 2023/5/11公表

1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

FY23_H1

減収減益

(単位：億円)

	FY22_H1	FY23_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,080	862	▲ 218
営業利益	23	▲ 60	▲ 83

【増減益要因】

- (-) ファイバ・ケーブルおよび光デバイスの顧客の投資抑制や在庫調整の長期化、プロジェクト遅延等
- (-) 操業量減少による生産性影響
- (-) 原燃料価格の上昇

- (+) 販売価格適正化
- (+) 固定費削減

FY23_通期予想

減収減益

下方修正

(単位：億円)

	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	2,176	2,200	1,650	▲ 526	▲ 550
営業利益	65	80	▲ 125	▲ 190	▲ 205

* 2023/5/11公表

状況認識

	FY23_H1	FY23_H2
ファイバ・ケーブル	主に北米・中南米 需要の急速な減少	需要低迷長期化
光デバイス/ 国内NW 関連製品	半導体不足による案件 の延期	Q4から緩やかに回復

今後の対応

- 固定費削減
- 需要回復時も見据えたファイバ・ケーブル製造体制整備
- 汎用品からネットワーキングシステム・高付加価値品へのシフト
- 北米市場を中心に顧客層を拡大（FTTH、データセンタ等）
- 光デバイスの顧客認証取得による商流拡大と製造体制整備

1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

FY23_H1

減収減益

(単位：億円)

	FY22_H1	FY23_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	518	486	▲ 32
営業利益	2	▲ 26	▲ 29

【増減益要因】

- (-) 減収および低価格適用*
(大型プロジェクト案件の来年度以降への延期)
- (-) 中国の顧客工事延期の継続
- (-) 減価償却費増
- (-) 製品補償費用の発生
- (+) 機能線 (アルミCV等) は堅調

*案件が下期集中のためFY23_Q4に戻る見込み

FY23_通期予想

減収減益

下方修正

(単位：億円)

	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,063	1,150	1,050	▲ 13	▲ 100
営業利益	21	20	10	▲ 11	▲ 10

*2023/5/11公表

状況認識

	FY23_H1	FY23_H2
国内超高压	需要は堅調、工事案件は下期集中	
海底線		プロジェクト遅延
中国国内	中国市場低迷継続	緩やかに回復
機能線	アルミCVケーブル拡販 / 機能線は堅調	

今後の対応

- 利益重視の受注と販売価格の適正化
 - 国内超高压地中線
 - 再エネ関連
- ケーブル製造および工事施工能力の増強
- マーケティング活動の推進
 - アルミCV
 - 送配電部品

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

FY23_H1

(単位：億円)

FY22_H1

FY23_H1

増収増益

前年比

a

b

b-a

売上高	1,579	1,804	+225
営業利益	▲ 42	23	+65

【増減益要因】

(+) 自動車の生産台数増

(+) 改善効果

- ・顧客の生産計画安定による生産性改善やエア費削減
- ・販売価格の適正化

(-) 原燃料価格の上昇

(-) 製品補償費用の発生

(-) 中国市場の日系OEM向けの低迷

FY23_通期予想

(単位：億円)

FY22

FY23
前回予想*FY23
予想

増収増益

上方修正

前年比

前回
予想比

a

b

c

c-a

c-b

売上高	3,374	3,750	3,950	+576	+200
営業利益	15	85	115	+100	+30

* 2023/5/11公表

状況認識

>>

FY23_H1

FY23_H2

>>

自動車
部品顧客生産減
計画急変動

徐々に安定

生産増加

生産性悪化

生産性改善

さらなる改善

電池

車載、産業用ともに売上は下期集中

今後の対応

- ・顧客の生産計画情報の先取りによる生産平準化と在庫水準適正化
- ・電動車市場拡大に向けた製品開発、自動化対応

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

FY23_H1

減収減益

(単位：億円)

	FY22_H1	FY23_H1	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,353	1,283	▲ 70
営業利益	24	6	▲ 18

【増減益要因】

- (-) 車載・エレクトロニクス関連の需要減
- (-) 原燃料価格の上昇
- (+) 販売価格の適正化
- (+) 固定費抑制

FY23_通期予想

減収減益

下方修正

(単位：億円)

	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	2,730	2,700	2,600	▲ 130	▲ 100
営業利益	32	40	25	▲ 7	▲ 15

* 2023/5/11公表

状況認識

>>

FY23_H1

FY23_H2

>>

車載・エレクトロニクス
関連製品の需要減速

車載関連は緩やかに回復

エレクトロニクス関連の回復遅れ

今後の対応

- 高付加価値品の拡販による製品ミックスの改善継続

耐熱無酸素銅条
(パワー半導体・放熱部品用)リボン線・極細平角線
(5G通信インフラ用)高機能製品
(抵抗材等)

- 高機能製品のラインアップ拡充
- 販売価格適正化と低採算品種の撤退

FY23_H1

減収減益

(単位：億円)	FY22_H1	FY22_H1 (特殊要因除く) ^{*1}	FY23_H1	前年比
	a	a'	b	b-a'
売上高	702	625	557	▲ 68
営業利益	49	35	21	▲ 14

*1 特殊要因 = 東京特殊電線(株)の連結除外影響

【増減益要因】

(-) スマートフォン・パソコン・データセンタ向け製品の需要減、サプライチェーン上の在庫調整

(+) AI、再エネ関連の需要好調

FY23_通期予想

増収増益

上方修正

(単位：億円)	FY22	FY22 ^{*1} (特殊要因除く)	FY23 前回予想 ^{*2}	FY23	前年比	前回 予想比
	a	a'	b	c	c-a'	c-b
売上高	1,265	1,144	1,250	1,200	+56	▲ 50
営業利益	42	19	40	50	+31	+10

*2 2023/5/11公表

状況認識

>>	FY23_H1	FY23_H2	>>
スマートフォン、パソコン等の世界的需要減		緩やかな回復	
サプライチェーン上の在庫調整		在庫調整、需要低迷長期化 (HDD用アルミブランク材)	

AI関連投資が活況

今後の対応

- 需要が急拡大した生成AI関連需要の取り込み
 - データセンタや再エネ関連市場向け高付加価値製品の拡販の継続
- | | | | |
|-----------|------------|----------------|----------|
| 半導体製造用テープ | 高機能放熱・冷却製品 | HDD用薄型アルミブランク材 | 高周波基板用銅箔 |
|-----------|------------|----------------|----------|
- 需要増に対応する生産体制の整備

23年度上半期実績-要約B/S

(単位：億円)	*FY22末	FY23_H1末	増減
	a	b	b-a
流動資産	4,868	5,073	+205
現金及び預金	474	538	+64
受取手形、売掛金及び契約資産	2,296	2,271	▲ 25
棚卸資産計	1,723	1,877	+154
固定資産	4,466	4,597	+130
有形固定資産	2,693	2,771	+78
無形固定資産	202	198	▲ 4
投資その他の資産	1,571	1,628	+57
資産合計	9,335	9,670	+335
流動負債	3,810	4,015	+205
固定負債	2,233	2,297	+63
負債合計	6,044	6,312	+268
株主資本	2,835	2,741	▲ 94
その他の包括利益累計額	182	335	+153
非支配株主持分	274	282	+8
純資産合計	3,291	3,359	+68
負債・純資産合計	9,335	9,670	+335
有利子負債	3,238	3,435	+196
自己資本比率	32.3%	31.8%	▲ 0.5
NET D/Eレシオ	0.9	0.9	+0.0

* (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始により、FY22実績値をリステイト (Appendix参照)

棚卸資産

154億円 増加 (為替・銅価の影響: +83億円を含む)

戦略在庫 (半導体不足や海上輸送リードタイム長期化等の事業環境変化に備えた在庫の確保)
将来売上計上予定のプロジェクト・工事案件等
売上急増減等の外的要因

有形無形固定資産

73億円 増加

設備投資・減価償却費の影響: ▲6億円
為替影響: +110億円
連結除外影響: ▲30億円

資産合計

335億円 増加

為替影響: +348億円
新規連結の影響: +5億円

その他包括利益

153億円 増加

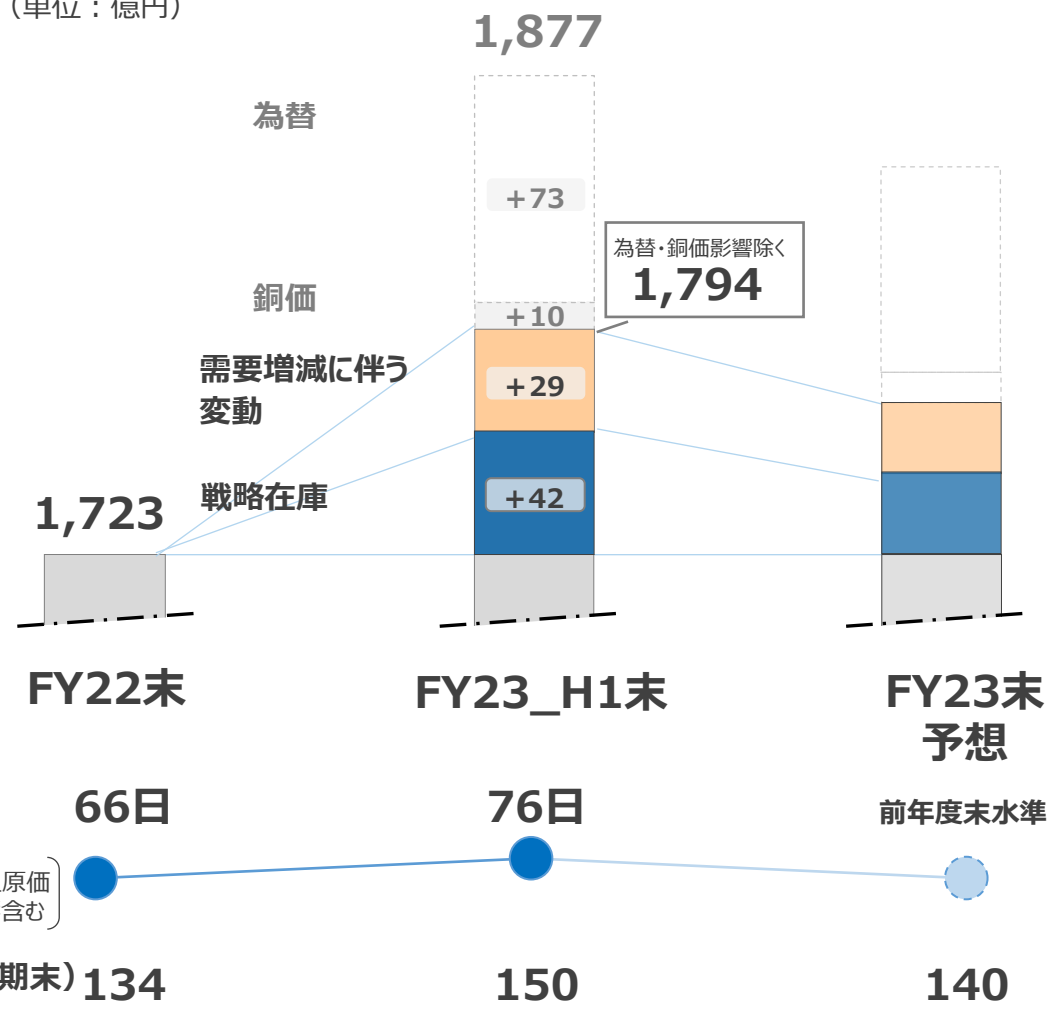
為替換算調整勘定: +143億円 (円安影響)

NET有利子負債

132億円 増加 (2,764億円→2,896億円)

■ 事業環境の変化に対して最適な棚卸資産を保有する考え方を継続し改善を進める

(単位：億円)



FY23_H1末の状況

- ① 需要増減に伴う変動
- ・需要増に合わせた積増し (主に自動車、AI関連等)
 - ・需要急減による増加 (主に情報通信関連)

② 戦略在庫

- ・原材料の調達難、物流混乱への備え (主に自動車関連)
- ・将来計上予定のプロジェクト案件

FY23末に向けての対応

・ベースとなる在庫
⇒最適在庫設計に基づき
適正水準で管理

・需要急減による
原材料の増加分
⇒納入調整で解消を図る

・変化に応じた
適正な在庫水準を維持

・プロジェクト案件延期の
影響は残る

■設備投資・研究費の通期予想見直し

(単位：億円)	FY22_H1	FY23_H1	前年比	FY22	*FY23 前回予想	FY23	前年比	前回予想比	(前回予想比)
	a	b	b-a	c	d	e	e-c	e-d	
設備投資額	178	169	▲9	438	460	430	▲8	▲30	(増加) 為替影響
減価償却費	189	192	+3	391	400	390	▲1	▲10	(減少) 市場動向に合わせた実施時期見直しおよび設計仕様見直しによるコスト抑制
研究開発費	118	124	+6	233	270	260	+27	▲10	(増加) 為替影響 (減少) 市場動向に合わせた実施時期見直しおよび効率化によるコスト抑制

*2023/5/11公表

ご清聴ありがとうございました。

The slogan "Bound to Innovate" in a bold, italicized, black serif font. A red graphic element, resembling a stylized lightning bolt or a curved arrow, starts under the word "Bound" and extends upwards and to the right, passing over the word "Innovate".

Appendix

■ (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始 上記変更に伴うFY22実績のリステイト

(単位：億円)

	FY22_H1		FY22	
売上高	5,245	5,245	10,663	10,663
営業利益	46	46	154	154
(率)	0.9%	0.9%	1.4%	1.4%
持分法投資損益	57	39	60	36
為替損益	47	47	17	17
経常利益	140	121	196	173
(率)	2.7%	2.3%	1.8%	1.6%
特別損益	1	1	107	107
法人税等	▲ 59	▲ 56	▲ 107	▲ 103
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 3	▲ 3	▲ 17	▲ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	79	63	179	159
(率)	1.5%	1.2%	1.7%	1.5%

■ (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始 上記変更に伴うFY22実績のリステイト

	FY22末	(単位: 億円) FY22末
流動資産	4,868	4,868
現金及び預金	474	474
受取手形、売掛金及び契約資産	2,296	2,296
棚卸資産計	1,723	1,723
固定資産	4,480	4,466
有形固定資産	2,693	2,693
無形固定資産	202	202
投資その他の資産	1,585	1,571
資産合計	9,348	9,335
流動負債	3,810	3,810
固定負債	2,228	2,233
負債合計	6,038	6,044
株主資本	2,806	2,835
その他の包括利益累計額	230	182
非支配株主持分	274	274
純資産合計	3,310	3,291
負債・純資産合計	9,348	9,335
有利子負債	3,238	3,238
自己資本比率	32.5%	32.3%
NET D/ELシオ	0.9	0.9
ROE	6.1%	5.5%

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	ファイバ・ケーブル
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		